

東京理科大学一国立感染症研究所 第3回感染症勉強会

2019年末に発生した新型コロナウイルスによるパンデミックは（COVID-19）は、現在も続いています。予期せぬ今後のパンデミックなどに備えるため、平時から感染症の専門機関との連携を深め、危機的状況が発生した時、迅速に協力できる体制を構築しておく必要性があります。

そこで本学と感染研との勉強会を開催し、お互いの研究を紹介し、専門用語や研究手法、考え方などの相違点を理解しつつ、ネットワークを構築したいと思います。今年3月の第2回に続き第3回目になる今回は、感染研と理科大側の研究をご紹介します。ふるってご参加ください。



「創薬分子標的としての SARS-CoV-2スパイクタンパク質」

野口 耕司 博士

東京理科大学薬学部薬学科・教授



「ワクチン研究の新潮流」

高橋 宜聖 博士

国立感染症研究所・治療薬・ワクチン開発研究センター長
東京理科大学生命科学研究所・客員教授（連携大学院）

日時：2022年8月30日（火）午後6時10分～

場所：zoomウェビナー

（合計約1時間の講演後、30分～1時間ほどの意見交換）

以下のURLからお申込みください
（2行目も続けて入力してください）

参加申込用URL
二次元バーコード

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScOHvCO4uGr8VjAKu9CsZ0t1JJlwiTNz6cHg1aTgdm4NSGow/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>

（先着200名、参加者多数の場合には東京理大内および感染研内からの応募を優先する場合がありますので、予めご了承ください）



主催：東京理科大学薬学部、理工学部応用生物科学科
東京理科大学研究推進機構 生命医科学研究所
東京理科大学新型コロナウイルス感染症関連研究タスクフォース
東京理科大学研究推進機構 総合研究院・炎症病態治療研究懇談会
東京理科大学医療・生命科学部会

共催：東京理科大学研究推進機構 総合研究院

後援：日本薬学会

担当：東京理科大学薬学部 青木（総合研究院副院長、医療・生命科学部会長）（内線：野田6540）
野口（内線：野田6546）